

出会いと別れ、新たな道へ



21910362 福島 来夢

● 保護犬の実態

飼い主・ペットショップ・ブリーダーから様々な理由から保健所にいき、一定期間預かり、保護施設・動物愛護センターなどで引き取られる場合と殺処分されてしまう場合がある。引き取られた場合は、お世話してもらいながら心のケアやトレーニングを行っている。公共施設・商業施設等で譲渡会が行われ、新しい家族と出会う場を設ける。様々な審査を経て里親のもとへ行き、新たな道へ歩いていく。

現在、殺処分は国や各都道府県・地区町村の取り組みによって減少している。しかし、譲渡数は増加と減少を繰り返している。

● 保護施設の問題点 (神奈川県 動物愛護センターでヒアリング調査実施 2022年7月23日)

- 1) 立地 → 音やニオイ等のことから、住宅街や駅前などが密集する場所には保護施設が少ない。住宅街の中には、施設の一部にあり、人馴れやトレーニングは郊外で行われている。
- 2) 飼う側 → 保護犬や保護施設の認知度や関心は、テレビなどで取り上げられたことから上がっているが、初めて飼うならば、保護犬を迎えるのではなく、ペットショップで子犬から飼いたいと考えている人が多い。
- 3) 出会い → 譲渡会以外にも出会いを作るために保護施設だけでは出会いの場が限られてしまう。

● コンセプト

《 誰でも気軽に立ち寄れる犬の保護施設 》

家族を無くして行き場を無くしたワンちゃんが新たな家族と出会う場を設けつつ、より多くの人に興味・関心を持ってもらえるように保護施設だけではなく、**ドッグカフェ・トリミングサロン・ワンちゃん体験**を設けた複合施設を計画する。

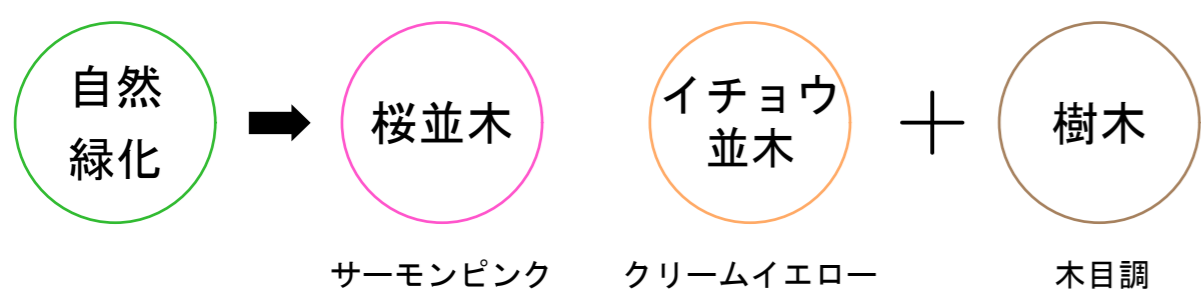
保護施設以外を併用することでより多くの方が訪れる。目的・年齢など関係なく、ワンちゃんを飼っている飼っていないなど関係なく、気軽に歩いてより多くの出会いを作ることができる。

● 対象犬種

- 1) 超小型犬・小型犬 (子犬からシニア犬まで年齢は問わない)
→ ミニチュアダックス・チワワ・トイプードル・マルチーズ・ヨークシャーテリア・パピヨン・ポメラニアン・バグ など
- ※ 室内運動をメイン
→ 骨や関節が弱い傾向があるため、ヘルニア等のけがを防止するため、散歩もするが室内運動をメインに計画する。

● 外観カラーコーディネート

成城といえば・・・



- 成城の街並みから連想したカラーコーディネート
- 建物を通して四季折々の魅力を感じてほしい
- 成城学園前駅の新たなスポット

● アート&オブジェ



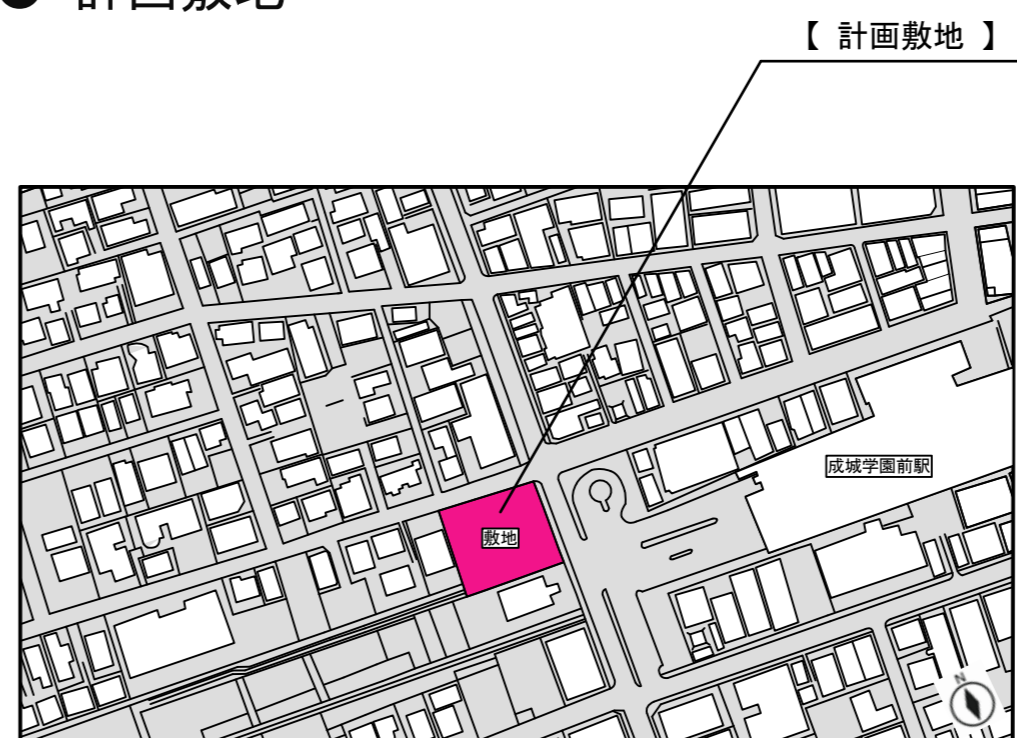
写真スポットとこの施設の名前である『I♥DOG』の文字



オリジナルキャラクター『いちごちゃん』『れんくん』



● 計画敷地



【 詳細 】

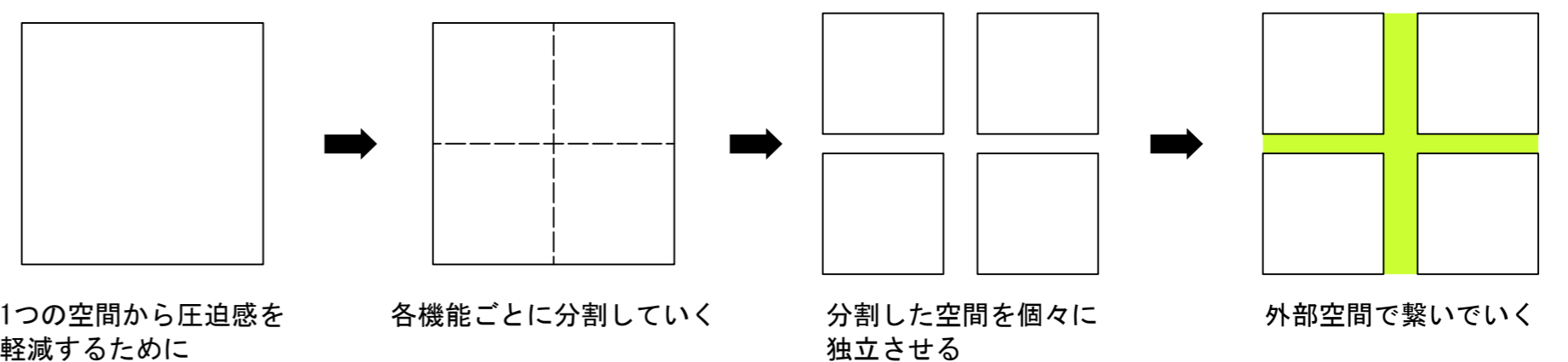
- ・住所 → 東京都世田谷区成城5丁目1-25
- ・敷地面積 → 1407.727㎡
- ・用途地域 → 近隣商業地域
- ・建ぺい率 → 80%
- ・容積率 → 200%
- ・アクセス → 小田急線 成城学園前駅 徒歩1分以内

【 特徴 】

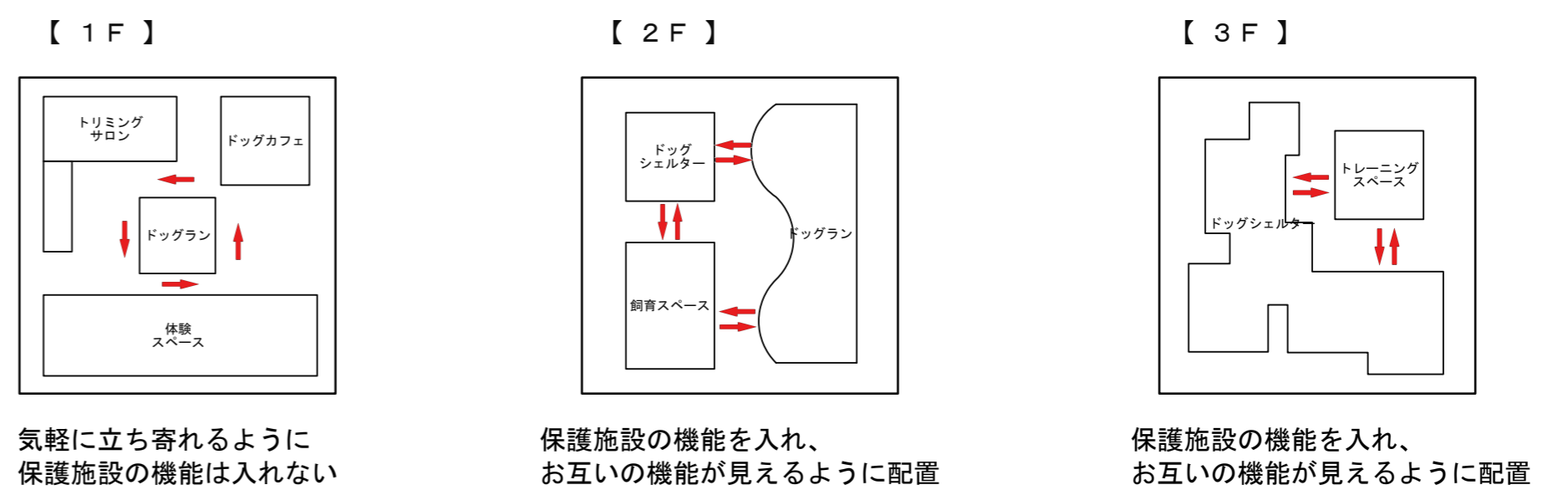
- ・ペットを飼っている人が多い。
- ・駅周辺にはペット可のカフェやトリミングサロンがある。カフェではテラス席のみと猛暑や極寒の時は利用しづらい
- ・駅周辺には動物病院が少ない
- ・自転車圏内のところに動物病院がある
- ・ペット可の物件が多数ある
- ・公共施設や学校施設などがあるため不特定多数の人が利用
- ・駅から徒歩1分のためアクセスはしやすい。

● ダイアグラム

【 空間の構成 】



【 機能の構成 】



● 断面図 (A-A' 断面図 S: 1/150)

